



笛舞小学校で「最後の入学式」

4月9日、令和9年3月で閉校となる笛舞小学校で、最後の入学式が行われました。

1名の新1年生、竹田輝士（ぐんじ）さんは、緊張した表情で入場。

在校生や地域住民に見守られ、温かな門出の式となりました。



目次

P2～3 令和8年度 予算の概要

P4～5 予算特別委員会 質疑

P6 令和7年度 第11回定例会

P7～10 一般質問 6名8件

P11 議会改革特別委員会

P12 この人に聞く

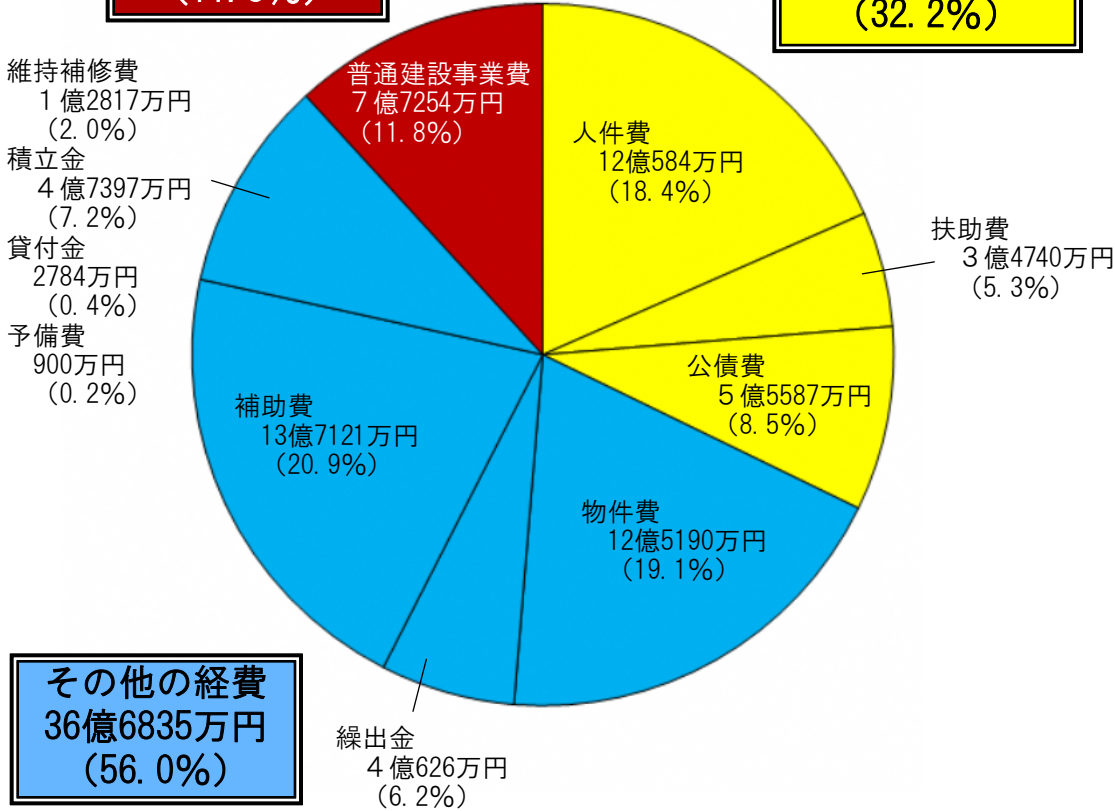
えりも本町駐在所
所長 木戸 正博 さん

65億5千万円

前年度比 5億7000万円の増

投資的経費
7億7254万円
(11.8%)

義務的経費
21億911万円
(32.2%)



3月12日から2日間にわたり開かれた第11回定例会では、令和8年度一般会計予算、および4特別会計、2企業会計7件を審議し、すべて原案通り認定しました。

主な新規・継続事業

○新規事業

- ・地域公共交通事業 1320万円
公共交通空白地問題を解消するため専用車両の購入と講習費用を助成
- ・河川環境整備事業 1900万円
南部家川河川護岸維持補修
- ・水産施設等解体工事 1億2100万円
漁村センター及び旧えりも漁協事務所の解体
- ・えりも高校クロムブック更新事業 443万円
- ・えりも高校新入学生被服等補助事業 87万円
入学する生徒にジャージや上靴の購入を助成
- ・庶野小、えりも中、児童クラブエアコン整備事業 674万円

○継続事業

- ・目黒地区緊急避難施設等整備事業 9486万円
避難施設を建設する事業
- ・消防団第7分団詰所移転事業 3047万円
第7分団詰所を建設する事業



エアコンが設置される庶野小学校



えりも高校で35台のクロムブックを更新

令和8年度 一般会計予算

予算特別委員会の委員長は

ただのぶ
橋本維応議員

が務めました



自主財源
27億503万円
(41.5%)

分担金・負担金
4789万円 (0.7%)

財産収入
3576万円 (0.6%)

使用料・手数料
1億1728万円
(1.8%)

町税
4億8933万円
(7.5%)

交付金
1億9446万円
(2.8%)

町債
6億6720万円
(10.2%)

諸収入
9624万円 (1.5%)

寄付金
10億1万円
(15.3%)

繰入金
8億9451万円
(13.7%)

繰越金
2400万円
(0.4%)

地方交付税
23億9900万円
(36.6%)

国庫支出金
3億5085万円
(5.3%)

道支出金
2億3346万円
(3.6%)

依存財源
38億4497万円
(58.5%)

● 予算総括表

単位 (千円)

会計区分	予算額	前年比
一般会計	6,550,000	570,000
国民健康保険特別会計	876,000	-28,000
診療所特別会計	424,000	31,000
介護保険特別会計	539,000	42,000
後期高齢者医療特別会計	102,000	22,000
小計	1,941,000	67,000
総計	8,491,000	637,000



解体される漁村センター(手前)と旧えりも漁協事務所(奥側)

国保診療所特別会計予算

内視鏡システム更新事業1485万円



経年劣化により更新される「内視鏡システム」

○ 公営企業会計

単位 (千円)

公営企業会計	予算額	前年比
簡易水道事業	205,557	6,919
下水道事業	293,486	-20,291
合計	499,043	-13,372

予算特別委員会

予算特別委員会2日目の3月13日、令和8年度の予算案に対する質疑応答が行われました。

各委員から多くの質疑がありました。内容を抜粋し掲載します。

南部家川改修時に立木伐採を

質疑（高松）

令和8年度は南部家川護岸改修の調査設計を行い、次年度は実際に改修すると思うが、熊の出没、大雨による川の氾濫・洪水、流木による被害などの危険性を回避するために、改修に合わせて河川内の立木伐採を。

答弁（建設水道課技術長）

今回の改修は、国道より下流側の工事で立木がない場所だが、上流の立木伐採を引き続き北海道に要望していく。

内陸避難道路早期建設期成会負担金

質疑（大坂）

期成会の進捗状況は。

答弁（企画課長）

2月に胆振総合振興局室蘭建設管理部と室蘭開発、当町の建設課と産業振興課と企画課で、内陸避難道路の建設に向けて勉強会を実施した。今後も引き続き協議をしていく。

来年度以降は林道の関係もあり、森林の担当者も含めて勉強会を開催する調整をしている。

水産施設等解体工事

質疑（高松）

えりも町漁村センター及び旧えりも漁協事務所等の解体に1億2100万円計上されているが、漁協からの分担金と跡地の利用は。

答弁（産業振興課長）

漁協からの分担金は3回に分けて5000万円を拠出してもらう。跡地は駐車場を検討している。



隣接しているため同時でなければ解体できない2つの建物

出納窓口委託料

質疑（上野）

新規に窓口収納の業務委託132万円が計上されているが内容は。

答弁（税務課長）

指定金融機関の日高信金に出納の派出所窓口を無償でお願いしていたが、人材の確保やシステムの維持コストが高くなってきたため委託料という形で負担する。

保育士人材確保

質疑（高松）

保育士人材紹介手数料181万4000円の内容と算定根拠は。入所希望者に対し保育士は足りているか。

答弁（町民生活課長）

人材派遣会社を通じて雇用する保育士1名分の紹介手数料で年間給与の40%を手数料として支払う。現時点で保育士は充足している。

旧笛舞小校長住宅解体工事

質疑（上野）

解体後の土地の利用は。

答弁（建設水道課専門技師）
旧笛舞校長住宅は劣化が

進み、近隣の昆布干場に影響があるので令和8年度に解体する。

跡地利用は未定だが、令和8年度に近辺の土地を一般に売却の公募をする予定である。

児童遊園遊具修繕と保守点検

質疑（嵯峨）

遊具の場所は。点検で不具合があつての修繕か。

答弁（町民生活課長）

遊具の設置箇所は、町内保育所3か所、西えりも、新浜、近浦地区の児童公園で、保守点検をして不良箇所があれば、翌年度以降で修繕する。



子どもたちが安心安全に使用できるように点検している

**水産多面的機能発揮
対策事業負担金**

質疑（上野）

赤潮対策の国からの助成金が令和8年度は大幅に減少するが、マツブの増殖に對して今後の取り組みは。

答弁（産業振興課長）

マツブは、昨年まで道東の漁協から買い付けて放流する事業を実施してきた。

令和8年度は国からの予算が削減されるため、実施できない見込みであるが、道が漁場調査を実施する予定で、資源の増大につなげられればと考えている。

陸上での種苗生産は、技術は進んでいるが放流した後の追跡が難しく、どのくらい資源に転換されているか検証するのが課題である。



資源回復が望まれる町の名産品「マツブ」

パークゴルフ場委託

質疑（竹内）

毎年約500万円ほど予算が計上されているが、芝の状態が年々悪化している。委託先は適正な管理を行っていると考えているか。

答弁（産業振興課長）

委託先の森林組合に任せただけでなく、町でも状況を確認し積極的に対応する。



芝が枯れて土が露出しているパークゴルフ場のコース

地域おこし協力隊

質疑（神田）

観光振興のために1100万円を増額し、2名の増員を計画しているが、観光費委託料での地域おこし協力隊員の総勢は何名か。

また、インターン、アドバイザー派遣各事業の主な内容は。

答弁（産業振興課長）

地域おこし協力隊員は観光に関する業務で2名、キャンプ場に関する業務で3名の総数は5名である。

インターン事業は、夏・

冬休み中の大学生に町の観光資源の掘り起こしを委託する。また、アドバイザー派遣事業は活動している地域おこし協力隊を含め、町の観光がどのように進んでいるかアドバイスを受ける事業である。

観光振興の計画策定

質疑（嵯峨）

観光振興計画でDMO（観光地域づくり法人）を目指しているが、1段ハードルが上がったと理解している。その進捗具合は。

答弁（産業振興課長）

DMOのハードルは高いが目標の最上位に置いている。実現できなくても、地

公園管理費

質疑（大場）

以前から提案していたキャンプ場トイレの洋式化と、灯台公園の公衆トイレの監視カメラ設置は。

答弁（産業振興課長）

百人浜キャンプ場の管理棟以外のトイレは、環境省の補助金で改修できるように、来年度に向けて進めていく。灯台公園トイレの防犯カメラは、令和8年度中に設置する予定である。



防犯カメラの設置が予定されている灯台公園トイレ

町営野球場バックネット解体工事

質疑（大坂）

解体した後新規に建設する予定はあるか。

答弁（副町長）

令和8年度中に検討する。



破損し危険な状態のバックネット

小学校給食無償化

質疑（高松）

国からの支援で小学校の給食が無償化されるが、保護者負担はなくなるのか。

答弁（学校教育課長）

国からの支援で給食費全額を賄えるわけではないが、差額を町が負担し、保護者の負担がないようにする。



3月12・13日 第11回定例会

補正予算

◎令和7年度
一般会計(歳出)

えりも福祉会へ 補助金を追加

・特別養護老人ホーム運営
費補助金
989万2千円

・介護保険ショートステイ
事業補助金
917万5千円

・介護保険デイサービス事
業補助金
205万円

事業運営の資金が不足す
るため追加交付

条例改正

・えりも町百人浜パークゴ
ルフ場条例の一部を改正
する条例

使用料及び用具貸付料
を有料から無料に改正

・えりも町放課後児童クラ
ブ設置条例の一部を改正
する条例

改正前 小学4年生まで
改正後 小学6年生まで



小学6年生まで利用でき
るようになる「放課後児
童クラブ」

・えりも町住宅改修工事等
助成に関する条例の一部
を改正する条例

改正前
改修金額の100分5
で上限50万円

改正後
改修金額の100分の
10で上限100万円

10万円に満たないとき
は10万円を削除

人事

・えりも町公平委員の選任

新浜
佐々木 光政(57歳)
再任

・えりも町固定資産評価審
査委員の選任

本町
芳賀 則雄(65歳)
再任

・えりも町教育委員の選任

東洋
三谷 秀樹(60歳)
再任

2月25日 第10回臨時会

工事請負契約

・契約目的
目黒地区緊急避難施設及
び消防団施設新築工事建
築主体工事

・契約金額
1億280万円

・契約先
橋本・洪田・野澤経常建
設共同企業体

・契約目的
目黒地区緊急避難施設及
び消防団施設新築電気設
備工事

・契約金額
6413万円

・契約先
株式会社 武田電気



はしもとただのぶ
橋本維応議員

AIを活用し 行政サービスの向上を

令和8年度より 生成AI導入予定

問

答

【橋本】 生成AIの活用については期待と不安があると思うが、AIを職員の補助ツールとして活用し、行政サービスの質向上につなげてはどうか。

窓口業務では「書かない窓口」や申請支援の導入により、町民の負担軽減や待ち時間短縮、業務効率化が期待される。

さらに税務や保健福祉分野ではチャットボットの活用により、問い合わせ対応の効率化が図られると考える。

【答弁】 町のDX推進方針に基づき、マイナンバーの活用や光学文字認識による自動入力を進めることで、申請手続きの簡素化や待ち時間の短縮、職員の入力作業の削減が期待される。

このため、関係機関と連携しながら取り組みを進めていく考えである。

【橋本】 庁内業務においても、資料作成の効率化を進め、政策立案や住民対応に充てる時間を創出できるのでは。

【答弁】 令和8年度から生成AIエージェントサービスを導入し、全職員を対象に活用を進める予定であり、必要な知識の習得や利活用の向上にも取り組んでいく。

【橋本】 安全な運用・活用に向けて、ガイドラインを策定することを検討してはどうか。

【答弁】 正確性の確保や情報漏洩の防止、コンプライアンスへの対応が重要であることからガイドラインの策定と職員研修を進め、適切な運用に努めていく。



AIを有効利用して窓口業務の効率化を図る

えりも高校生徒の 更なる活躍の場を

若い世代の意見を 反映する方法を検討

問

答

【嵯峨】 令和6年3月定例会において、総合計画の審議委員にえりも高校生を選任するよう要望した。生徒は探究学習を通じて観光・育児・防災・医療福祉など幅広い分野で提案しているが、

単年度で終わるものが多く継続性に課題がある。

「子育てサポートバスケット」「庶野さくら公園のパンフレット」などの好事例は、継続することで生徒の意欲向上につながると思う。

こうした点を踏まえ、総合計画の審議委員に高校生の選任を前向きに検討を。

【答弁】 高校生を委員に委嘱するかは、高校や教育委員会の意見を踏まえ今後検討する。

また、高校生の意見反映の取り組みとして、令和7年度にまちづくりアンケートを実施し、80名に配布、17名から回答を得た。

今後も若い世代の意見を反映する方法について、高校と協議しながら検討していく。

【嵯峨】 令和8年度から補助金が計上され、



高校生が考案し実現した「子育てサポートバスケット」

運用方法は学校に裁量権があると思うが、柔軟性をもって執行できるか。

【答弁】 本年より「総合的な探究の時間」の発表会は町民や議員にも公開され、育児や観光など地域に関する多くの提案が示された。新設される「えりも高校探究学習支援補助金」は、探究学習の深化と、生徒の発想による地域振興やまちづくりの提案実現を目的としている。今後は学校の裁量のもと柔軟に運用し、生徒の提案実現に向け有効活用していく。



かんだ おさむ 議員
神田 修

問 地域交通対策の推進を

答 公共ライドシェアの導入を検討

【神田】 町長は選挙公約で、交通弱者に対する地域交通の確保を掲げているが、本年4月からはJR北海道バスの減便が実施されることとなった。

こうした状況を踏まえ、町としては独自の地域交通を早期に実現することが重要であると考ええる。

現在、交通空白地の解消に向け、福祉有償運転者講習会の開催や受講費用の助成に取り組みとともに、運行に必要な車両2台の購入も予定されている。

今後どのような運行形態を目指すのか、また、その実施時期は。

【答弁】 JR北海道バス

日勝線は、運転手不足や利用者減少に伴う赤字増加を背景に、令和8年4月1日より3便が減便となる。減便の影響については、町として早急に対応策を検討する考えである。

タクシー事業についても運転手不足により将

来的な休止の可能性がある。

その代替として公共ライドシェアの導入に向けた検討を進め、運転手確保のため講習会を実施し、22名の受講者を登録したところである。

今後は、事業者協力型による運行の実施に向け、車両や運行方法の具体化を図るとともに、必要な手続きを進め、可能な限り早期の実施を目指している。



運転手不足等で4月から減便となるJRバス

問 各学校や斎場などに エアコンの早期設置を

答 庶野小・えり中は 令和8年度に設置

【神田】 ここ数年来の気温上昇によって、学校のエアコン設置が

「子ども議会」や高校生との「議員と語る会」などで強く要望されている。

公平性の観点や対応の遅れによって設置費用の高騰などが想定されることから、各学校や斎場などへの設置を同年度に実施するべき

と強く望むが町の考えは。

【答弁①】 令和8年度に庶野小学校およびえりも中学校の普通教室等へエアコンを設置する。

両校は電気容量に余裕があり、暑さがこもりやすい環境であることなどから先行して整備するものである。

一方、えりも小学校およびえりも岬小学校は、電気容量不足や設備改修に多額の費用を要することから、令和9年度以降の設置を検討している。

今後は照明のLED化による電力削減を進め、余力電力を確保しながらエアコン設置を進めていく考えである。

【答弁②】 斎場へのエアコン設置は、自治会長会議でも要望があり、

えりも小学校のエアコン設置は令和9年度以降に



令和8年度での設置を検討している。

しかし、町の財政状況は依然として厳しく、公共施設の規模を踏まえ、単年度での一斉整備は財政への影響が大きいことから、令和8年度当初予算には計上していない。

今後は、予算の執行状況を精査しながら、年度途中において可能な限り早期の設置を進めていく考えである。



おおさかしょうきち
大坂庄吉議員

婚活支援（サポート事業） の取り組みを

他町での実施状況を 注視し検討する

【大坂】 未婚化や晩婚化が進む中、当町では出会いの場や集う機会が少ないことが課題である。

インターネットでの交流は広がっているものの、実際に出会う機会には依然として高いハードルがあり、現実の出会いの場の創出が重要である。

類似町では結婚相談所と連携した「成婚サポート事業」を開始し、出会いの場の提供と少子化対策につなげている。

個人の選択への関与には様々な意見があるが、人口減少対策として、当町においても同様の取り組みが必要であると考えるが。

【答弁】 町における婚活支援は、平成24年に婚活ツアーを実施し、その後も取り組んだが、カップルは成立したものの成婚には至っていない。その後の実施も検討されたが、開催されていない状況



インターネットなどで出会い結婚した人は近年25%を超えている

況である。

結婚を巡っては晩婚化・未婚化が進行しており、多くの自治体が結婚支援事業を実施している一方、個人の価値観への行政関与に対する慎重な意見もあり、事業を廃止する例もある。

類似町では民間と連携した成婚サポート事業を実施しており、当町としてはその状況を注視しつつ、今後の結婚支援の在り方について検討していく考えである。

教員の相談窓口の設置は

専用窓口はないが 教育委員会で対応する

【大坂】 全国的に小中学校の教員が、保護者からの繰り返し苦情や電話対応などにより、適応障害を発症する事例が報道されている。

適応障害は、環境の変化やストレス、人間関係などにより心身に不調をきたし、日常生活に支障を及ぼすものであり、公務災害として

て認定される例もある。

こうした状況を踏まえ、教育委員会に相談窓口の設置を求める動きも見られる。

当町においても同様の事例が生じる可能性は否定できないことから、教員を支援するための相談窓口の設置について、どのように考えているか。

【答弁】 現在、学校現場では業務の複雑化・多様化により、教職員が強いストレスを受け、精神疾患による休職が増加している。

全国でも病気休職者の多くを精神疾患が占めており、教職員が安心して働ける環境整備は重要な課題である。北海道教育委員会で各種相談窓口の設置やカスタマーハラスメント対策を進めている。

相談窓口となっている教育委員会



当町においても、ストレスチェックや保健師面談、学校訪問等により状況把握と対応に努めており、相談専用窓口はないが教育委員会で随時対応している。

今後は既存の相談電話を活用し、相談しやすい環境整備を進めるとともに、医療機関の紹介や復職支援を含めたメンタルヘルス対策の推進など、支援体制の充実に努めていく考えである。



おおばふみひろ
大場文裕議員

将来的なえりも町の 歯科医療体制は

問

体制の維持に向け 対応を検討する

答

このまま対策を講じなければ、将来的に歯科医院の閉院が現実となり、特に高齢者を中心に通院困難や口腔健康の悪化など、地域住民の生活と健康に大きな影響を及ぼすことが懸念される。

現段階から計画的な対応が必要であると考えるが、将来的な歯科医師不足および後継者問題についての具体的な認識を持っているか。

【答弁】 地域の歯科医療体制は全国的な課題であり、国の「骨太方針2025」においても、歯科医師の地域偏在は是正や提供体制の強化が示されている。

【大場】 当町には2軒の歯科医院があるが、いずれも将来的な後継者不足が懸念される。歯科医療は他の医療分野以上に世代交代が課題となりやすい。

一方で、歯科診療報酬の伸び悩みや資材費・人件費の高騰により、経営環境は



歯科医院の将来的な継続が不安視される

厳しさを増しており、特に日高管内では歯科医師数が少なく、高齢化や後継者不足により今後医療機関の減少や歯科健診への影響が懸念されている。

当町も同様の状況にあり、将来的な歯科医療体制の維持に向け、人材確保や新規開業の促進、事業継承支援などの取り組みを検討する必要があります。

今後は他地域の事例や国・道の施策、診療報酬の動向を踏まえながら、具体的な対応を検討していく。

危険な空き家 解体に補助を

問

令和9年度以降の 予算化を検討

答

【高松】 朽ち果てた空き家は著しく景観を損ねるだけでなく、風が強い当町では老朽化した空き家が強風により破損し、近隣の住宅等に被害を及ぼす可能性が高く、近くの住民

は不安でたまらない。空き家の管理は所有者の責任であり、行政が解体するにはその手続きの煩雑さや解体費用の回収、公平性の観点からなかなか難しいことはわかるが、増え続ける空き家の老朽化が進めば、さまざまな弊害が起こる。

空き家所有者の中には経済的な理由で解体できない方も多いのではないかと。

こうした空き家の解体を判断してもらったために解体費用の一部を補助する事業を新たに創設できないか。

【答弁】 管理不全空き家は町内でも年々増加し空き家対策が喫緊の課題であると考えている。

管内でも、危険空き家解体による住民の不安解消を図ることを目的に、平取町は解体費用の2分の1、上限30万円、新冠町は上限1

軒の部分が崩れ落ちて
いる危険な空き家



00万円、様似町は令和8年度から実施予定である。

当町においても、安全で快適な居住環境を整備するためにも、補助制度導入に向けた検証を行っていく。

当町の実態に即したより実効性の高い、かつ公平感のある支援の在り方について、多角的な視点から議論を進め、令和9年度以降での予算化を前向きに検討していく。

議会改革特別委員会調査報告書

本委員会は、令和5年6月21日の第2回定例会において、議会運営改革等について必要な調査・検討を行うために設置された。検討を重ね、調査項目を5つに絞り、そのうち「常任委員会活動」、「タブレット端末の導入」及び「議会への関心を高める取り組み」についてはすでに調査が終了し、令和7年3月13日の第8回定例会において、中間報告を行ったところである。

残り2つの「議員定数」と「議員報酬」について、中間報告以後に調査した結果を報告する。

■次回選挙、定数1名減(11名→10名)

現在の議員定数11名は、平成18年に決定されたものである。その後も、2度設置された議会改革等調査特別委員会や議会運営委員会の中で定数についての議論が進められてきたが、全道の類似町村と比べても決して多い状態にないことや、広範で多様な町民ニーズを行政に反映させるためには一定程度の議員数が必要であることなどを理由として、現行の定数が維持されてきた。

今回改めて定数を検討するに当たり、道内における類似町村と比較したが、定数を10名としている町村が多く、日高管内の人口規模が近い町も同様の状況であった。こうした比較検討のほか、人口が減少し続けている当町の現状も踏まえて、現行の定数から1名減の10名とする意見が大多数を占め、**次回の町議会議員選挙から定数を10名とすることに決定した。**

なお、ほかの意見としては、議員選挙において立候補者が常に定数を上回っていることから、議員を目指す機会を確保するために定数維持を求める意見や、町民からの定数削減の声に基づき2名減とする意見や常任委員会の機能低下を懸念して2名以上の減は避けるべきという意見などがあった。

■議員報酬は現状維持

議員報酬は、平成29年に議員及び委員長の報酬を減額したのを最後に、現在まで据え置かれたままである。この額は、全道の議員定数が同じ町村の平均と比べて低い額であり、これは定数を10名とした場合でも同様の結果である。日高管内の各町との比較でも月額報酬がもっとも低く、手当については同じ率は1町のみで、これも管内で最低の数字である。

こうした背景のもと、議員報酬のあり方について検討を重ね、その中で増額を求める意見としては、他町村と比べて低額であること、近年は物価高騰や賃金上昇が進んでいる状況にあることや将来に向けた議員のなり手不足対策を理由とするものなどがあった。

しかし、自治体の厳しい財政状況や町民が物価高騰に苦しんでいるときの増額には難色を示す意見もあり、慎重に検討を進めた結果、**議員報酬は現状維持のままとすることに決定した。**

この人に聞く

えりも本町駐在所
所長

木戸 正博 さん (39)



上川郡上川町出身。
2009年3月に札幌大学を卒業し、同年10月北海道警察職員になるが、その後、試験を受け直し、2011年4月、警察官に。
2024年4月1日よりえりも本町駐在所所長として勤務。妻、子ども3人と5人暮らし。

▼警察官を志した理由は
大学時代、自転車での旅をしていた時に様々な地域の方や警察官にお世話になりました。(もちろん良い意味です！)

その時の経験から「人の助けになりたい、役に立ちたい」と思い警察官を志しました。

▼えりも町の印象は

とにかく風が強いと感じました。初めての巡回の時に、町民の方から昔はもつと風が強かったと聞かされ、とても驚いたのを覚えています。

町の規模が出身の上川町に似ており親近感を感じています。

▼日々の業務で気をつけていることは

事故や犯罪を未然に防止するために、パトロールや各家庭を訪ねる巡回連絡を重点的に実施しています。

防犯指導等の啓発活動では、まず「見てもらうこと」「分かりやすいこと」を心がけています。

余計な警戒心を抱かせないように、優しい笑顔での挨拶や声かけも意識しています。

▼最近増えている犯罪やトラブルについて

警察官を装った詐欺が急増しており、町内にも電話がかかってくるようです。

警察から「口座番号を教えてくださいほしい」などの電話をすることは絶対にありません。もしそのような電話があった場合は、すぐに電話を切って駐在所に通報又は相談に来てください。

▼特に注意して欲しい防犯ポイントは

特殊詐欺に関して言えば、知らない電話番号や非通知の電話には出ないということです。

相手は騙しのプロです。1対1では正常な判断ができません。話に出てしまった場合はすぐに切つて、まずは「誰かに相談」するというのが重要です。

警察はもちろん家族や友人、近所の方でもかまいません。誰かに相談することは被害防止の第一歩であり、地域の皆様の絆が詐欺防止に繋がればよいと思います。

▼休日の過ごし方や趣味は

休日は妻や子供と町内を散歩し、潮風を感じて心身をリフレッシュしています。読書が好きなので図書館にもよく行っています。おすすめの作家や作品があれば教えていただけると嬉しいです。

▼えりも町民へ一言

娘が書いてくれる4コマ漫画「ズワイくん」や1月に作成した雪像は町民の皆様からの反響が大きく、とても嬉しく思っています。公私ともに皆様からは、大変なご厚意を頂き家族一同感謝しています。

これからも、各種イベントに参加したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



小学校で交通安全講話をする木戸所長

議員雑感

今号の表紙は「笛舞小学校で最後の入学式」

母校が閉校になるのは本当にさみしい・・・。

私が通ったのは木造の旧校舎で、低学年の頃、教室のストーブはまだ石炭ストーブだった。

厳しい寒さの日には、廊下の水槽が金魚ごと凍りつくこともあった。けれど春になると、不思議なことにその金魚たちは再び泳ぎ出す。幼いながらに、生命の神秘を目の当たりにした瞬間だった。

あの校舎は、もう今はない。それでも、エアコンなどなかった時代の空気やぬくもりは、今もはつきりと心に焼きついている。

(上野)

広報広聴常任委員会

- 委員長 竹内 孝文
- 副委員長 上野 陽司
- 委員 大坂 庄吉
- 中野 公浩
- 嗟峨 直樹
- 大場 文裕